

賛成

自民クラブ
積極的な行財政改革と経常収支比率の改善を

平成十八年度一般会計歳入歳出の決算は、予算計上された各事業が予定どおり実施され、一定の成果を収めた。地方交付税は国の「三位一体改革」により減少傾向にあり、今後は自主財源の確保が不可欠である。現在の硬直した財政構造から抜け出すには、積極的に行財政改革を推し進め、経常収支比率の改善を図ることである。

反対

日本共産党
「サービスは高く、負担は低く」が守られていない

国の借金押しつけのもとで、自主財源比率が六四・六％、単年度は一三億円の黒字、この豊かな財源を市民本位に使えば、福祉タクシー券削減等が必要ない。国の「構造改革」によって補助金が削減され、交付税も二億八〇〇〇万円カットされている。増えたのは臨時財政対策債一一億円などで、市の財政構造を借金づけにするもの。定率減税の半分廃止で市民の負担は一人当たり五、七〇〇円も増えているが、市独自の軽減策はなく、合併時の「サービスは高く、負担は低く」が守られていない。

賛成

公明党
住民の視点に立つ予算執行を

平成十八年度一般会計歳入歳出の決算数字を見ると、経常収支比率は前年度より四・一ポイント好転している。当市としても将来にわたり安定的な行財政運営を行なうために、さらに改善していく必要がある。財政的に有利な起債でも、計画性が必要である。そのために、今までの現金主義でなく、これからの資金が必要なのかが分かる発生主義で分析を行なうべきだ。また、住民の視点に立つ予算執行が大事である。

賛成

民主党・市民クラブ
なお一層の創意工夫を望む

平成十八年度決算の位置づけは、新市においてははじめての年間を通した決算であり、十七年度、十九年度とあわせて、二十年度からふじみ野市総合振興計画がスタートするが、その助走期間であったといえる。国の三位一体改革等の影響で、予算編成においても大変厳しい財政状況にある。決算の結果を見ると、財政調整基金や各種基金のあり方等行財政改革の必要性がより高まっている。なお一層の創意工夫を望む。

提出議案と審議結果

◎全員賛成 ○賛成多数

…平成18年度決算認定 ……

○一般会計

○国民健康保険特別会計

○老人保健特別会計

○介護保険特別会計

○下水道事業特別会計

○水道事業会計

…平成19年度補正予算 ……

○一般会計(第3号)

○国民健康保険特別会計

○介護保険特別会計

○下水道事業特別会計

○一般会計(第4号)

…条例の一部改正 ……

○政治倫理の確立のためのふじみ野市長の資産等の公開に関する条例

○都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例

○テニスコート条例

…その他 ……

○総合振興計画基本構想を定めることについて

○土地開発公社定款の一部変更

○道路線の廃止(1件)、変更(1件)、認定(6件)

…人事 ……

○教育委員会委員の任命

○公平委員会委員の選任

…意見書 ……

・デジタル放送の受信体制が整うまで、アナログ放送を打ち切らないことを求める

・郵政民営化を凍結することを求める

・「非核日本宣言」を求める

…政治資金透明化を求める ……

○原子力発電所における巨大地震に関する耐震対策の改善を求める

○難病(特定疾患)の医療費公費負担の充実を求める

…以上、可決 ……

…以上、否決 ……

…以上、可決 ……